

請求の範囲

- [請求項1] 物体側の面から入射した光束を眼球側の面から出射させ、眼を介して網膜上の位置 A に収束させるベース領域と、
- 前記ベース領域と接するデフォーカス領域であって、前記デフォーカス領域の少なくとも一部を通過する光束が発散光として位置 A に入射する性質を持つ複数のデフォーカス領域と、を備え、
- 前記デフォーカス領域の少なくとも一部においては、中央部から周辺部に向かう方向に屈折力が増加する、眼鏡レンズ。
- [請求項2] 前記デフォーカス領域を通過して眼鏡レンズから射出する光は、前記デフォーカス領域の中央部と同等の焦点距離を有する球面レンズに対して正の球面収差が付加された仮想レンズを通過した光と同じ状態である、請求項 1 に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項3] 前記発散光として位置 A に入射する際の光斑の最大光量密度は、位置 A に比べ、位置 A よりも物体側の位置の方が高くなる、請求項 1 に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項4] 前記デフォーカス領域の中央部の屈折力は、前記ベース領域の屈折力よりプラスの値である、請求項 1 に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項5] 前記眼鏡レンズは近視進行抑制レンズである、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の眼鏡レンズ。